

平成25年度

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

事業報告書

公益財団法人ブルボン吉田記念財団

平成25年度事業活動の状況の概要

○定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を実施いたしました。

(1) 学資金の貸与、または給付

学力優秀でありながら経済的事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的：奨学事業を通じて、人材の育成や教育の振興ならびに公衆の教養の向上および心身の健全な発展に寄与する。

平成25年度実施状況

4月19日 第37回奨学生最終決定通知の発送

9月30日 平成26年度からの山形県庄内地域への学資金貸与拡大の準備として山形県立鶴岡南高等学校、山形県鶴岡市教育委員会を訪問（吉野常務理事）し、財団奨学金事業の説明

10月1日 上記と同目的に山形県教育庁高等学校教育課訪問

10月15日 第38回奨学生募集についてのお願いの発送

2月3日 第38回奨学生選考委員会の開催

*3月末現在の貸与金額 18,020 千円

*3月末現在の返還金額 13,045 千円

*詳細は別紙にて記載

(2) 文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的：平成25年9月21日、新潟県柏崎市に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生（米国 コロンビア大学名誉教授）の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学のすばらしさを再発見する場を提供する。

平成25年度実施状況

「ドナルド・キーン・センター柏崎」に関わる諸事業で主のものは次のとおりです。

1. 公益財団法人ブルボン吉田記念財団主催等の事業

①9月29日 センター開館記念講演・公演会の開催（実行委員会形式にて開催）

・場所：柏崎市民会館「アルフォーレ」

・チケット販売枚数 1,000 枚

・来場者：1,000 名

・柏崎、刈羽地区の小中学生ご招待 13 名

・東日本大震災被災柏崎在住者ご招待 10 名

・市内の小中学校34校にキーン先生の著作本「私が日本人になったわけ」（PHP 研究所）を寄贈。

②新潟日报社「みらい大学」の開催（共催）

定員 50 名

・第1回目7月31日（於：新潟日報メディアシップ）講師：川村知行氏

・第2回目9月1日（於：同上）講師：ドナルド・キーン氏、越後角太夫氏

・第3回目9月27日（於：柏崎産業文化会館）講師：鳥越文臧氏、西橋八郎兵衛氏

③「キーン先生所蔵レコードによるオペラ講座」の開催

定員 50 名（於：ドナルド・キーン・センター柏崎 大型映像ホール）

- ・第1回目 10月11日
- ・第2回目 11月1日
- ・第3回目 11月24日～キーン先生が講師として来館（参加者は70名）

2. 「ドナルド・キーン・センター柏崎」に関わる関連事業

- 「ドナルド・キーン・センター柏崎」開館までの活動～8月31日に工事完了、引渡しを受ける。

PR活動

- ・開館告知のリリース 6月20日
- ・「広報かしわざき」に掲載 6月5日、7月20日、8月20日、9月5日
- ・「越後花だより」長岡丘陵公園広報紙に掲載
- ・施設見学会の開催
 - 柏崎市役所様 7月10日、17日
 - 柏崎市商工会議所女性部様 7月19日
 - キーン先生完成前視察 8月20日
 - 近隣ご町内の皆様 9月12日
- ・番組出演（テレビ新潟） 9月18日
- ・ラジオ出演（FMポート） 9月27日
- ・新聞掲載（日本経済新聞） 8月7日

内覧会の開催 9月20日

キーン先生のご友人を中心に、センター建設にご協力賜りました方々120名をご招待。

開館記念式典 9月21日

下村博文文部科学大臣、県知事、市長等お招きして開催。下村大臣より、キーン先生に「文部科学大臣賞」が授与されました。

- 「ドナルド・キーン・センター柏崎」開館後の活動

入館者数

- ・1,000人達成 10月4日（山本春恵様）
 - ・2,000人達成 11月2日（矢島素子様）
- 上記お二人には、記念品として、「図録」「デリシャス DKC（菓子詰合せ）」「風呂敷」を贈呈いたしました。
- ・3,000人達成 12月17日（新潟産業大学 金ゼミ生の皆様）
 - ・平成25年度累計入館者数 3,517人

期間：平成25年9月21日～12月25日、平成26年3月10日～3月30日

① 特別企画展

- ・「川端康成からドナルド・キーンへ宛てた書簡、その後」展
「日本文学の世界への広がり」展
平成25年9月21日～12月25日
- ・「ドナルド・キーンの直筆原稿が語る『日本文学を読む』展（前期）
平成26年3月10日～平成26年7月21日

② 月間ミニ展示企画～毎月のテーマに沿ったセンター所蔵の資料のミニ展示企画

- ・11月：キーン先生と源氏物語
- ・12月：三島由紀夫の書簡

③ 講演活動

- ・柏崎ソフィアセンターにて（吉田眞理理事）9月14日
- ・まなびすと講座（吉田眞理理事）10月27日

・市民大学講座（中津副館長、石黒学芸員）10月28日

④他団体への協力活動

・柏崎市教育センター主催「楽しく学ぶドナルド・キーンの世界」

1月18日（土）参加者90名

・古典を読む会主催「特別講座」

1月21日（火）参加者30名 2月18日（火）参加者30名 3月18日（火）参加者30名

⑤PR活動

新聞、テレビでの掲載

10月 広報かしわざき 10/20号キーンセンターコレクション紹介

読売新聞 10/22:「論点」～キーン先生インタビュー記事

BSN新潟放送 開館記念番組「越後から吹く風 キーン先生の想いをのせて」放送

10/26 AM10:30～10:58

新潟日報:BSN番組宣伝掲載

新潟日報:「みらい大学」総括報告記事掲載(10/26)

11月 広報かしわざき:11月20日号「キーンセンターコレクション」紹介

東京新聞:11月2日「ドナルド・キーン東京下町日記」掲載

柏崎日報:11月21日「キーン先生サイン会」掲載

柏崎日報:11月24日「オペラ講座」掲載

BS-TBS「週刊BSTBS」内放送の取材(11/7)と放送(11/10)

12月 広報かしわざき:12月20日号「キーンセンターコレクション」紹介

越後タイムス:オペラ講座

新潟日報:12月20日「カート・トン公使来館」12月25日「日報抄」

柏崎日報:12月20日「カート・トン公使来館」「来館者3,000人」

1月 広報かしわざき:1月20日号「キーンコレクション」紹介

柏崎日報:1月1日新春特別号 1月22日教育センター研修講座

柏新時報:1月10日「カート・トン公使来館」

越後タイムス:1月20日教育センター研修講座

「SAKE SALON」(出版:デザインファームアンドリゾート)に掲載

2月 広報かしわざき:2月20日号「キーンコレクション」紹介

3月 「和楽」4月号(出版:小学館)「ドナルド・キーン大研究」記事内に掲載

広報かしわざき:3月20日号「キーンコレクション」紹介

その他

・柏崎市諏訪町商店街フリーマーケットチラシでのクーポンの掲載

9/21～11/21(2ヶ月間)チラシ配布枚数 30,000枚 回収枚数 30枚 回収率 0.1%

・2月26日キーン先生が実行委員長を務める「故辻井喬(堤清二)氏お別れ会」に参列

⑥著名人の来館

・ドナルド・キーン先生の来館

8月20日、9月20日～21日、11月24日、3月9日

・その他の方々

11月:NY新潟県人会大坪会長様 ライシャワー東アジア研究所ケント・カルダー様

12月:駐日アメリカ大使館 カート・トン主席公使様

⑦春の開館・特別企画展内覧会の実施

・3月10日のリオープンと「特別企画展」の開催に合わせ、3月9日に「内覧会」を開催。

テープカット式や茶話会をボランティアの皆様の協力により実施した。

⑧展示リニューアル

・2階映像検索・収蔵品検索コーナーに案内サインを設置。

⑨協賛金・賛助会員募集の状況

平成26年2月より、特別企画展の協賛社および「ドナルド・キーン・センター柏崎」賛助会員の募集を開始しました。

(3) 文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的：文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上および心身の健全な発展に寄与する。

平成25年度実施状況

5月22日 第2回理事会・第1回評議員会にて、「文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業」についての展開案の提示

*平成25年度については、助成事業に関する準備不足により、実施に至っておりません。

(4) 公益目的事業に関連する物品販売（収益事業）

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用のオリジナルグッズを制作し、センター内にて販売します。

販売商品 当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売

当センターの専用ロゴ（キーン先生直筆）を印刷した商品の販売

○財団の運営に資する主な活動の報告

(1) 主要な会議

① 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成25年度 第1回理事会 平成25年4月1日 新潟県柏崎市松波4 丁目2番14号 株式会社ブルボン 会議室	第1号議案 財団法人吉田奨学財団からの継承財産承認の件 第2号議案 第1年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）事業計画案および収支予算案承認の件 第3号議案 業務委託契約案締結承認の件 第4号議案 業務執行理事（常務理事）の職務明細および諸規則等の制定承認の件	原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。
第2回理事会 平成25年5月22日 新潟県柏崎市番神2 丁目10番39号 岬ひとひら 会議室	第1号議案 特例財団法人吉田奨学財団第37年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録承認の件 第2号議案 財団の主たる事務所移転承認の件 第3号議案 各種規程案承認の件 第4号議案 財団の所有する株式の議決権行使に関する件	原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 理事長に一任されました。

<p>第3回理事会 平成25年11月8日 新潟県柏崎市諏訪町10番17号 株式会社ブルボン 統合研修センター</p>	<p>第1号議案 平成25年度上半期事業報告および下期事業計画承認の件 第2号議案、第4号議案 平成25年度収支状況報告ならびに特定資産を公益事業1に充当する件 第3号議案 平成26年度事業方針の件 第5号議案 奨学金貸与の人数増と新規貸与者への増額の件</p>	<p>原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。</p>
<p>第4回理事会 平成26年3月10日 新潟県柏崎市諏訪町10番17号 株式会社ブルボン 統合研修センター</p>	<p>第1号議案 平成25年度事業報告の件 第2号議案 平成25年度収支決算見込みの件 第3号議案 借入金に関する件 第4号議案 平成26年度事業計画(案)承認の件 第5号議案 平成26年度収支予算(案)承認の件 第6号議案 財産等の取得報告の件 第7号議案 諸規程の改訂および制定の件</p>	<p>報告が了承されました。 報告が了承されました。 原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 報告が了承されました。 報告が了承されました。</p>

② 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
<p>平成25年度 第1回評議員会 平成25年5月22日 新潟県柏崎市番神2丁目10番39号 岬ひとひら 会議室</p>	<p>第1号議案 特例財団法人吉田奨学財団第37年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録承認の件 報告事項に関する件 (1)財団の主たる事務所の移転 (2)各種規程類の改訂について (3)財団の所有する株式の議決権行使について</p>	<p>原案のとおり承認されました。 理事会での決議結果について、報告を受けました。</p>

③ 奨学生選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
<p>奨学生選考委員会 平成26年2月3日 新潟県柏崎市松波4丁目2番14号 株式会社ブルボン 会議室</p>	<p>第38回(平成26年4月進学) 奨学生1次選考 出願者 大学志望29名 選考委員：渡辺恒弘氏、相澤陽一氏 林克久氏、大上喜彦氏</p>	<p>1次合格者25名、補欠4名を選出いたしました。</p>
<p>平成26年4月10日</p>	<p>1次選考合格および補欠で進学が決定した全員を採用することとし、大学生25名について文書により選考委員に報告いたしました。</p>	<p>・第38回奨学生採用決定 大学生25名</p>

(2) 主な活動

4月1日	公益財団法人に移行認定、登記 名称：公益財団法人ブルボン吉田記念財団
4月17日	登記完了
4月18日	内閣府に移行登記完了届を提出
4月19日	認定の公示
4月22日	財団HP開設・公益認定のリリースを発信
10月10日	財団HPに「寄付金サポート」のお願いの掲載

平成25年度奨学事業に関する報告書

事業の概要

(1) 平成25年4月進学(第37回)奨学生採用決定(平成25年4月19日)

対象者	採用計画	採用決定
大学生	20名	20名

(2) 奨学金貸与(4月15日から貸与開始、第37回奨学生へ5月初旬に4・5月2か月分から開始)

対象者	人数	1名当り貸与額		当年度貸与額
大学生	77名 (3名途中 辞退)	月額20,000円	年額240,000円	18,020,000円

(3) 平成26年4月進学(第38回)奨学生募集

① 募集計画数 大学生 25名

② 募集活動

・対象校 高等学校105校(新潟県93校、山形県庄内地方12校)

・募集要項発送 10月5日

・応募締切 12月25日

③ 出願者および選考(第1次選考委員会、平成26年2月3日)

対象者	採用計画	出願者	1次合格	採用決定
大学生	25名	29名	25名+補欠4名	25名

第1次合格および補欠で進学決定者全員を採用することとして、選考委員に書面にて報告いたしました(平成26年4月10日)。

奨学生採用実績および次年度採用案

	第31回	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回	第39回
	19/4	20/4	21/4	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4	(案)
大学生	14名	13名	16名	16名	20名	20名	20名	25名	25名

奨学生在学者数

年 度	大学生	年 度	大学生	年 度	大学生	年 度	大学生
第28年度	51名	第31年度	54名	第34年度	55名	第37年度	70名
第29年度	54名	第32年度	53名	第35年度	59名	第38年度	77名
第30年度	57名	第33年度	52名	第36年度	65名	第39年度	84名

平成26年4月（第38回）奨学生採用者進学先

奨学生番号	進学大学（学部もしくは学科）	奨学生番号	進学大学（学部もしくは学科）
448	駒澤大学文学部	461	工学院大学工学部
449	京都大学理学部	462	長岡造形大学造形学部
450	日本歯科大学新潟生命歯学部	463	駒澤大学経済学部
451	東北公益文科大学公益学部	464	千葉工業大学工学部
452	和歌山大学観光学部	465	東北大学工学部
453	明治大学商学部	466	駿河台大学心理学部
454	山形大学理学部	467	静岡大学教育学部
455	信州大学経済学部	468	新潟県立大学国際地域学部
456	金沢工業大学工学部	469	東洋大学生命科学部
457	新潟薬科大学薬学部	470	長岡技術科学大学工学部
458	千葉商科大学商経学部	471	長野大学環境ツーリズム学部
459	筑波大学生命環境学群	472	新潟大学経済学部
460	法政大学人間環境学部		

卒業生数（平成26年3月卒業まで）

大 学	375名（うち中途辞退者等15名）
高 専	13名（うち中途辞退者等1名）
合 計	388名（うち中途辞退者等16名）

卒業生就職状況（中途辞退者を含む）

	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	計	比 率
建設業	1名	名	名	名	名	名	名	1名	2名	1.8%
製造業	3	1	1		2	1	2	1	11	9.7
公務・団体	2		1		1	2	1	1	8	7.1
教職員	4	1	1	1		1	1		9	8.0
金融・保険・証券					2		2		4	3.5
運輸・通信		1							1	0.9
電力・ガス									0	0.0
卸売・小売業	—	4	1				4	1	10	8.8
医療・福祉	—	3		1	3	2		3	12	10.6
その他	2	2	5	5	4	6	2	2	28	24.8
進学等		1	3	3	2	1	1	3	14	12.4
不詳・死亡	2	3	1	2		2	1	3	14	12.4
計	14	16	13	12	14	15	14	15	113	100.0